

小松電機産業社長 小松 昭夫氏



「一村一志運動」提唱

いま、私は山陰の小さな村（島根県八雲村）から全国へ向けて「一村一志運動」を提唱している。よく知られている「一村一品運動」がモノで村おこしを目指したのに対

してココロ、高い志で地域の振興を図ろうというもの。そして運動

高い志で地域振興

の推進役となるのが地域に生きる企業である。

もう少し具体的にいうと、当社は昨年、HNS（人間・自然・科学）研究所を設立した。産業の空

もも実施した。周藤彌兵衛は当社のある八雲村で、江戸時代に村を洪水から守るため五十六歳で一発発起、九十七歳までかかって岩山を切り抜き、川の流れを変えた「郷土の偉人」。

その偉業、高い志にスポットを当てることで未来への道筋を発見する、というのが運動の趣旨である。

洞化、高齢化と環境問題など社会経済の混乱する状況にあって人間、自然、科学の新しいかかわりを見直し、「本物の価値」を創造する時ではないか、と考えたことが背景になっている。このためHNS研究所では本来の研究開発と並んで、社会貢献を大きな事業の柱に掲げており、これを具体化するものが「一村一志運動」だ。

では何をするのか。当社ではこの四月にHNS研究所から『周藤彌兵衛』を小説・児童文学・漫画の三部作として出版、シンポジウ

私としては期待している。